



JPI催しのご案内

2018
11

公益社団法人日本包装技術協会

— 研究会の参加申し込み方法について —

JPIホームページより参加申し込みができます。
ホームページからのお申し込みを宜しくお願い致します。

●開催要領

会場 公益社団法人日本包装技術協会 会議室 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
日時 平成30年11月29日(木) [第1部] 13:15~15:00 [第2部] 15:15~17:00
参加費 JPI法人・個人会員：無料／一般：3,240円(1部会、税込)

第1部 第224回包装資材研究会

13:15~15:00

【テーマ】MA包装(青果物)に必要な要因

加工食品と異なり、青果物は収穫後、流通・貯蔵中も生きており、生活反応による保有成分の損耗が生じ、収穫直後の品質を保持するのが困難である。そのため、品質成分の損耗抑制に、低温、CA、MA、鮮度保持剤等の多くの技術が用いられている。また、収穫後、加熱等による殺菌処理ができないため、加工食品より貯蔵中における腐敗によるロス率が高い。青果物を鮮度良く貯蔵するため、各種のMA包装が工夫されているが、青果物の性質をよく知らなければ、せっかくの包装も無駄となってしまう。本講義では、青果物の生理と鮮度保持に必要なMA包装について解説する。

【講師】 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 食農ビジネス推進センター・ビジネスコーディネーター 長谷川 美 典 氏
 【コーディネーター】 (株)メイワパックス 技術開発本部 技術開発部 マネージャー 包装専士 河 野 ゆかり 氏
 ユニチカ(株) 包装フィルム営業部 市場開発グループ グループ長 包装管理士 桑 田 秀 樹 氏

第2部 第223回包装ラインシステム化研究会

15:15~17:00

【テーマ】SIG Combibloc System が創出する、紙容器の新たな可能性

SIG Combibloc System の概要、特徴などを紹介するとともに、海外ユーザが展開している商品事例などを紹介いたします。

【講師】 大日本印刷株式会社 包装事業部 AP本部 SIG統括室 システム・無菌技術チーム 黒 田 直 宏 氏
 【コーディネーター】 (株)森永生科学研究所 分析テクノ事業部 包装技術グループ 主任研究員 包装管理士 浅 野 泰 史 氏
 増田食品開発コンサルティング 代表 包装専士 増 田 敏 郎 氏

本研究会は包装や物流に関する専門的知識の普及を目的としたものであり、受講のためには同分野での経験が必要です。

11月研究会参加申込書

研究会に参加を希望される場合には、当会ホームページからのお申し込み、もしくは、下記申込書にご記入のうえ、本紙をFAXにてお受け付け致します。(FAX番号 03-3543-8970)

法人会員 ・ 個人会員 ・ 一般		いずれかに必ず○を付けて下さい	
会社名		TEL	
所在地	(〒)	FAX	
参加者	(氏名)	(所属役職)	
	(e-mail)	@	第1部・第2部
	(氏名)	(所属役職)	
	(e-mail)	@	第1部・第2部
	(氏名)	(所属役職)	
	(e-mail)	@	第1部・第2部

見学先：東洋ガラス㈱ 千葉工場

開催日時：平成30年11月27日(火) 13:00~15:30 (予定)

集合場所：東洋ガラス㈱ 千葉工場前 具体的な集合場所は後日ご連絡致します。

集合時間：12時50分 (時間厳守) 定員：38名

参加費：無料

- ◆お申し込みはファクシミリによる先着順受付とさせていただきます。
- ◆お申し込み方法は紙面に第301回見学会参加希望とご記入の上、会社名、所在地(〒)、参加者名、所属役職、電話番号、FAX番号をご記入下さい(記入漏れがある場合、無効となりますのでご注意ください)。
- ◆参加証の発送をもって、申し込み受付に替えさせていただきます。参加証は開催日一週間前に発行いたします。
- ◆同業他社の方のお申し込みの場合、受け入れ出来ない場合があります。

見学会のお申し込み並びにお願い(毎回規程が変わりますので必ずご確認ください)

第56回 全日本包装技術研究大会【東京大会】

— 開催のご案内 —

[主 催]	公益社団法人日本包装技術協会	[後 援]	経済産業省・農林水産省・国土交通省・防衛装備庁・特許庁・他関連官庁
[期 日]	平成30年11月21日(水)~22日(木)	[発表件数]	84件 (予定)
[会 場]	幕張メッセ国際会議場	[発表内容]	包装又は包装資材に関する研究 / 新技術・新システム・新素材の紹介 / 廃棄・リサイクルの容易性 / 包装の現場における改善・合理化の事例 / 省力・省資源・コスト低減の事例など
[部 会]	①包装資材部会 ②包装ラインシステム化部会 ③食品包装部会 ④生活者包装部会 ⑤医薬品医療機器包装部会 ⑥化粧品包装部会 ⑦輸送包装部会 ⑧電気機器包装部会 ⑨環境包装部会 ⑩パッケージデザイン部会		

聴講者募集用パンフレットは10月中旬に完成する予定です。詳細は事務局にお問い合わせ下さい。

◆お申込及びお問合せ先◆ (公社)日本包装技術協会 〒104-0045 東京都中央区築地4-1-10F 担当：小橋 TEL:03-3543-1189 e-mail:kobashi@jpi.or.jp

平成30年度静岡県包装研究会【開催要領】

日 時：平成30年11月2日(金) 13:00~16:10

参加費：会員：無料 (一社)静岡県紙パルプ技術協会会員：無料 一般：3,240円(税込)

会 場：静岡県男女共同参画センター「あざれあ」第1研修室

定 員：80名(定員になり次第締切となります)

【スケジュール】

13:00~14:30	テーマ：『紙製造工程と品質の関係について—基礎技術から最新の動向まで』 講 師：静岡県紙パルプ技術協会 技術等アドバイザー 久保田 道孝 氏
14:40~16:10	テーマ：『衝撃シミュレーションによるプラスチック緩衝材の設計効率化』 講 師：富士ゼロックスアドバンステクノロジー株式会社 エキスパート開発統括部 包装設計グループ 遠藤 泰輔 氏

申込専用パンフレットにて参加お申込み下さい

◆お申込み及びお問い合わせ先◆ (公社)日本包装技術協会 静岡県包装研究会係 担当：佐藤 TEL:03-3543-1189 e-mail:satou@jpi.or.jp

軟包装の知識について短期習得を目指す

第35回フレキシブルパッケージコース

【開催日】平成30年11月9日(金) 10:00~16:30

【会 場】(公社)日本包装技術協会A会議室

【講 師】下山田包装技術事務所 所長 下山田 正博 氏(包装管理士)

【定 員】70名

【参加費】会員21,600円(消費税・テキスト代込み) / 一般33,480円(消費税・テキスト代込み)

■受講のお勧め

フレキシブルパッケージ(軟包装材料)は、プラスチックフィルム、紙、金属箔などを原材料として製造される柔軟性のある包装材料である。これらは食品、医薬品などの内容物を直接包装するため高度な品質保持機能や安全・衛生性が求められる包装材料である。この講座は、フレキシブルパッケージの企画、開発、製造、などに携わる方々を対象とし、フレキシブルパッケージ技術の根幹となる包装設計を行うための基本的な知識を短時間で習得できるようにプログラム致しました。この機会に関係各位お誘いあわせのうえ、ご参加ください。

専用パンフレットにてお申し込み下さい。HP (<http://www.jpi.or.jp>) からご確認頂けます。

◆お申込及びお問い合わせ先◆ (公社)日本包装技術協会 〒104-0045 東京都中央区築地4-1-10F 担当：佐藤 TEL:03-3543-1189 e-mail:satou@jpi.or.jp

【個人情報の取扱いについて】

1. 個人情報は「(公社)日本包装技術協会 月例研究会」の事業実施に関わる資料等の作成、ならびに当会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内等のために利用させていただきます。なお、作成資料は開催当日、関係者に限り、配布する場合があります。
2. 参加申込によりご提供頂いた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。

◆お問い合わせ及び各種催しの申し込み先◆

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F

公益社団法人日本包装技術協会 担当：佐藤

TEL:03-3543-1189 FAX:03-3543-8970

●JPI催しのご案内はインターネットでも公開中です。 URL <http://www.jpi.or.jp>